

平成29年8月8日付【北海道通信】
北海道支部＜災害時の技術支援で協定＞
状況調査、応急復旧など

札幌市と上下水道コンサル協道支部
災害時の技術支援で協定
状況調査、応急復旧など

札幌市と全国上下水道コンサルタント協会北海道支部（佐藤謙二支部長）は七日、札幌市役所本庁舎で「災害時における下水道技術支援協力に関する協定」を締結した。協定内容は、下水道施設被災時における被害状況調査、応急復旧、災害査定資料作成などの業務に関する技術支援協力など。



左から佐藤支部長、吉岡副市長

全・安心にとって有効な協定となるようしっかりと取り組んでいきたい」と述べた。災害時における被害の拡大防止や下水道施設の早期復旧などを目的に協定を締結。同協会北海道支部が道内自治体と技術力支援に関する協定を締結したのは、今回が初めてとなっている。締結式では、協定の概要説明、協定書の内容確認に続き、吉岡副市長、佐藤支部長があいさつ。吉岡副市長は、昨年の北海道での台風災害などを例に挙げ「いつ災害が起こってもおかしくない」と危機感を示し、「同協会との協定は心強い」と感謝。「市民の安全・安心にとって有効な協定となるようしっかりと取り組んでいきたい」と述べた。佐藤支部長は、昨年四月に発生した熊本地震において、協定に基づき支援活動を実施したことを紹介し、「これまで培ってきた専門的な技術や経験を活かし、札幌市民の安全・安心につて、責務の一端を果たしていきたい」と意気込みを語った。